

エコアクション21

環境活動レポート2017



実施期間
平成28年2月～平成29年1月

 **央幸設備工業株式会社**

承認	審査	作成
尾北	伊藤	武藤

目次

1. 事業活動の内容
 1. 事業所名及び代表者氏名
 2. 所在地
 3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 4. 事業内容
 5. 事業規模
 6. 組織図
 7. 認証・登録範囲
 8. 環境活動の対象期間及び発行日

2. 環境方針

- 3-1. 環境目標
- 3-2. 環境目標とその実績
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 水使用量(排出量)の削減
 - (3) 産業廃棄物排出量の削減

4. 主要な環境活動計画の内容と評価、次年度の取組内容

5. 今後3年間の削減目標

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 事業活動の内容

1. 事業所名及び代表者氏名

央幸設備工業株式会社 代表取締役 尾北 紀靖

2. 所在地

本 社 〒003-0811 札幌市白石区菊水上町1条4丁目1番地21

会社倉庫 〒003-0811 札幌市白石区菊水上町1条4丁目202番地3

3. 環境管理責任者氏名

責任者 伊藤 保夫

連絡先 TEL:011-814-9701 FAX:011-814-9707

E-mail oukou@oukou.co.jp

4. 事業内容

空調・冷暖房・給排水衛生・消防設備、各種プラント設備工事、省電力装置の
販売設置、一般建築工事(防水・内装仕上・塗装・板金・大工・土木)、
靈芝の栽培

5. 事業規模

資本金 7,000万円

従業員 36名(平成29年5月現在)

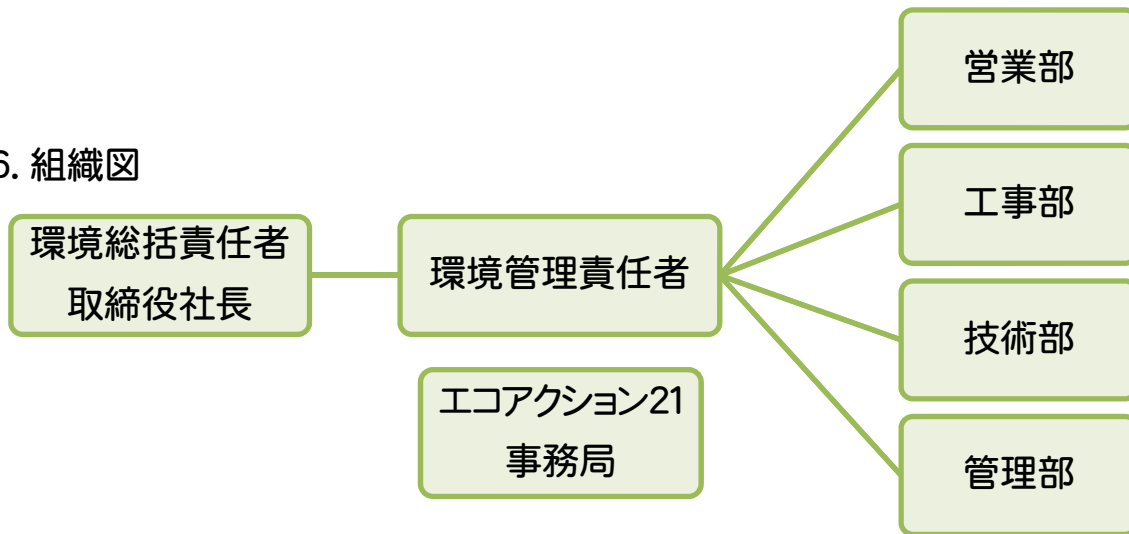
売上高 平成28年度・・・1,034百万円

床面積 本 社 418㎡

会 社 倉 庫 736.6㎡

北広島営業所 76.42㎡

6. 組織図



7. 認証・登録範囲

央幸設備工業株式会社 本社・現場事務所、会社倉庫

8. 環境活動の対象期間及び発行日

平成28年2月1日～平成29年1月31日

レポート発行日

平成29年6月20日

2. 環境方針

【基本理念】

央幸設備工業株式会社は世界規模で深刻化している環境問題を真摯に受け止め、建設業として事業を行うにあたり環境負荷を把握し、先進性のある技術を提供しながらも可能な限り積極的に環境保全に努め、“人と地球にもっと愛を”をキャッチフレーズに循環型社会を構築・貢献していきます

【環境保全行動指針】

- ①事業活動において関連する法律・条令などの法規制を遵守します
- ②地球温暖化を抑制する為に、二酸化炭素排出量削減を推進します
 - ・事務所・現場事務所において使用していない電気の消灯（昼休み時間帯は全て消灯）
 - ・エコドライブ・目的地の事前ルート確認による燃焼使用量の抑制
- ③産業廃棄物削減・限りある資源の有効活用を推進します
 - ・工事現場における産業廃棄物排出の際はリサイクルできるものと細分別化し軽減・資源の有効利用
 - ・白紙使用については事務所・現場事務所において印刷ミス軽減と裏紙利用
 - ・事務所における一般廃棄物は細分別化と削減
 - ・事務用品などのグリーン購入の推進
- ④環境負荷低減の為に水道使用量の削減を推進します
- ⑤環境配慮の施工・工事の推進をします
- ⑥当社環境方針を社員に周知徹底させ環境保全の意識を持たせる

平成28年12月1日



央幸設備工業株式会社

代表取締役 尾北 紀靖

3-1. 環境目標

1. 二酸化炭素排出量

購入電気量 排出係数を0.683kg-CO₂/kWhに変更した為、今年度は調査年度となる。

灯油使用量 } 年間5%削減目標に限界を感じた為、数値は具
ガソリン使用量 } 体化しないが前年度より数値を上げないように
軽油使用量 } 目標設定をする。

A重油使用量 年間1%削減目標

2. 水使用量を削減する(目標数値は設定しない)

3. 産業廃棄物排出量の削減

工事の受注状況によって、産業廃棄物の排出量が変わるので数値を具体化するの難しいが、分別を行い混合廃棄物を減らす。

4. 環境配慮の施工・工事を推進する

3-2. 環境目標とその実績

(1) 二酸化炭素排出量の削減

電力使用量 調査年度

北海道電力 排出係数0.683 (kg-CO₂ /kWh)

項目	単位	H27.2~H28.1 (排出係数0.517kg-CO ₂ /kWh)	H28.2~H29.1 目標数値	H28.2~H29.1 実績数値	評価
電気使用量 (本社・倉庫)	kWh	31,167	—	28,085	—
電気使用量 (現場事務所)	kWh	3,309	—	4,787	—
電気使用量 (北広島)	kWh	29,018	—	27,826	—

北広島事務所は、他部門(霊芝栽培)と事務所を共同で利用しているため削減目標をあげない。
現場事務所は年ごとに現場数が増えるので削減目標をあげない。

ガソリン使用量 前年度より数値を上げない

項目	単位	H27.2~H28.1 (基準年)	H28.2~H29.1 目標数値	H28.2~H29.1 実績数値	評価
ガソリン使用量	L	26,082	26,082	27,971	7%増
ガソリン使用量 (北広島)	L	2,974	—	2,835	4%減

北広島事務所は、他部門(霊芝栽培)と事務所を共同で利用しているため削減目標をあげない

軽油使用量 前年度より数値を上げない

項目	単位	H27.2~H28.1 (基準年)	H28.2~H29.1 目標数値	H28.2~H29.1 実績数値	評価
軽油使用量	L	5,788	5,788	4,784	17%減
軽油使用量 (北広島)	L	—	—	136	—

北広島事務所は、他部門(霊芝栽培)と事務所を共同で利用しているため削減目標をあげない

灯油使用量 前年度より数値を上げない

項目	単位	H27.2~H28.1 (基準年)	H28.2~H29.1 目標数値	H28.2~H29.1 実績数値	評価
灯油使用量 (本社・倉庫)	L	4,854	4,854	5,902	21%増
灯油使用量 (現場)	L	1,317	—	3,621	174%増
灯油使用量 (北広島)	L	820	—	6,991	752%増

北広島事務所は、他部門(霊芝栽培)と事務所を共同で利用しているため削減目標をあげない。

A重油使用量 前年比1%削減

項目	単位	H27.2~H28.1 (基準年)	H28.2~H29.1 目標数値	H28.2~H29.1 実績数値	評価
A重油用量 (北広島)	m ³	8,800	8,800	7,400	15%減

(2) 水使用量(排出量)の削減 目標数値は設定しない

項目	単位	H27.2~H28.1 (基準年)	H28.2~H29.1 目標数値	H28.2~H29.1 実績数値	評価
水使用量 (本社)	m ³	169	—	164	—
水使用量 (北広島)	m ³	82	—	79	—

(3) 産業廃棄物(建設副産物)の削減 OA機器類他

項目	単位	H27.2~H28.1 (基準年)	H28.2~H29.1 目標数値	H28.2~H29.1 実績数値
コピー機	Kg	0	—	0
テレビ	台	0	—	0
液晶モニター	台	0	—	0
ノートパソコン	台	0	—	0

産業廃棄物(建設副産物)

項目	単位	H27.2～H28.1 (基準年)	H28.2～H29.1 目標数値	H28.2～H29.1 実績数値
廃プラスチック	Kg	31,433	—	73,705
廃プラスチック (石綿含有專業廃棄物)	Kg	—	—	2,450
建設混合(管理型)	Kg	24,380	—	112,645
建設混合(安定型)	Kg	0	—	15,900
がれき類	Kg	6,630	—	1,810
アスコンがら	Kg	0	—	290
コンクリートがら	Kg	900	—	22,200
ガラス・陶磁器くず	Kg	42,830	—	94,540
金属くず	Kg	4,060	—	152,543
グラスウール	Kg	25,530	—	2,500
紙	Kg	1,200	—	2,550
廃石膏ボード	Kg	2,500	—	23,360
廃石膏ボード (石綿含有專業廃棄物)	Kg	—	—	100
木くず	Kg	650	—	6,930
廃油	Kg	0	—	27
汚泥	Kg	0	—	850
ペンキ缶	Kg	0	—	670
プラスターボード	Kg	1,360	—	0
油泥	Kg	8,540	—	0
合計	Kg	150,013	—	513,070

その他(計測不能)

項目	単位	H27.2~H28.1 (基準年)	H28.2~H29.1 目標数値	H28.2~H29.1 実績数値
ステンレス	Kg	0	—	0
スタイロ畳	枚	0	—	0
蛍光灯	本	145	—	0
電球	個	4	—	0
フレコンパック	枚	78	—	0

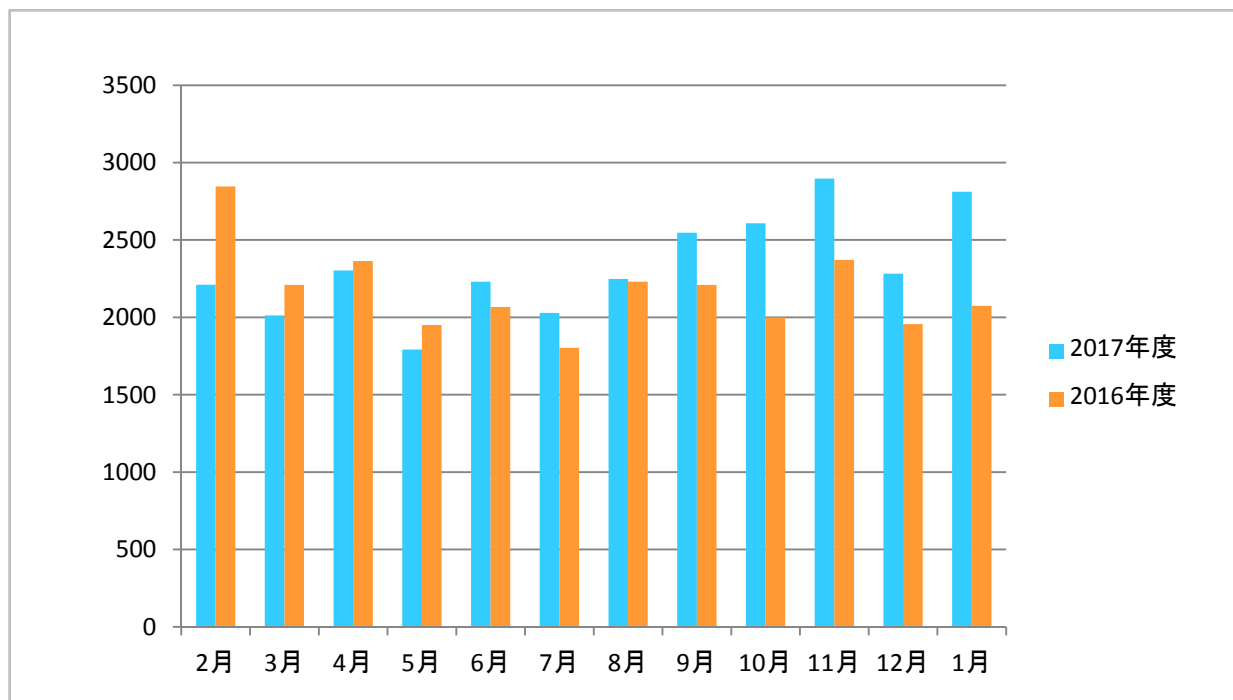
環境目標の実績について

(1) 二酸化炭素排出量の削減

電気使用量 ……事務所内の電気をLED化。

今年度から排出係数を変更をし、2016年度は調査年度。

ガソリン月別利用量比較



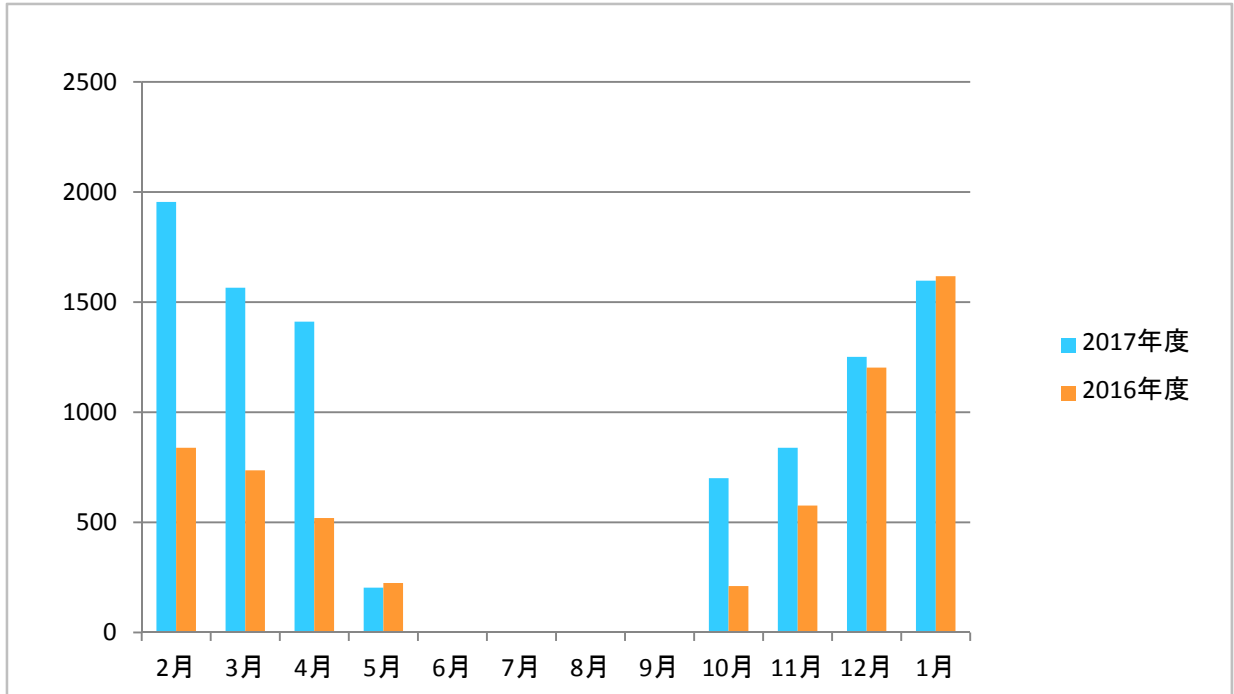
ガソリン使用量 ……前年度比較 7%増加

ガソリン使用車数が増えた為、前年度より数値が上がっていると
考えられる。

軽油使用量 ……前年度比較 17%減少

社内保有する車の台数が3台から2台と減った為と考えられる。

灯油 月別使用量比較



灯油使用量 ……前年度比較 21%増加
今年度は、冬季現場事務所が多かった為使用量が増加したと考えられる。

A重油使用量 ……前年度比較 15%削減
今年度の栽培量が少なかった為、年間目標より大幅に削減する事が出来た。

(2) 水使用量(排出量)の削減

削減目標は掲げていないが、前年度より2%削減。今後も削減を心がけていく。

(3) 産業廃棄物(建設副産物)の削減

削減目標を掲げていないが、今後もリサイクル・分別を徹底していく。

4. 環境活動計画の内容と評価

A.非常によくできた B.よくできた C.昨年と変わらず D.あまりできなかった E.ほとんどできなかった

取り組み項目	活動内容	取組結果	見直し (次年度の取組)
消費電力の削減	昼休みの不要な照明は消灯	A	継続指導
	パソコン・プリンター等未使用時は電源オフの徹底	C	
	暖房の設定温度を下げる	B	
	夏は窓を開け冷房を極力使わない	B	
	冷房使用時は設定温度を上げる	B	
ガソリン・軽油の削減	アイドリングストップの実施	C	
	急発進・急加速・急停止の禁止	C	
	タイヤの空気圧等車輛整備を行う	C	
	法定速度の遵守	C	
	現場通勤ルートの確認	C	
	車両冷暖房の控えめ使用	C	
	エコドライブの徹底	C	
灯油使用量の削減	設定温度を低くする	A	
	ウォームビズに取組む	A	
水道使用量の削減	節水を心がける	C	
	水道配管から漏洩していないか定期的にチェック	B	
産業廃棄物の排出量の削減	金属・電線類の分別回収	B	
	資源ごみの分別、適正処理	A	
	産業廃棄物の分別徹底による減量化	C	
	施工ミスをしな	B	
一般廃棄物の削減	印刷ミスをなくする	D	
	社内資料は裏紙を使用	C	
	ビン・カン・ペットボトルは各自分で持ち帰る	D	
グリーン購入の推進	インクカートリッジの回収、テプラ容器の回収	A	
	グリーンマーク、エコマークの表示商品の購入推進	C	
	再生紙の使用推進、リサイクル商品の購入推進	C	
	詰め替え可能な商品の購入推進	A	↓

4. 環境活動計画の内容と評価

A.非常によくできた B.よくできた C.昨年と変わらず D.あまりできなかった E.ほとんどできなかった

取り組み項目	活動内容	取組結果	見直し (次年度の取組)
地域環境活動	白石公園清掃	A	継続指導
	ペットボトルキャップの回収活動	A	
	豊平川清掃	C	
	厚別川清掃	C	
環境配慮工事	環境に配慮した施工	B	
	新エネルギー工事の提案	-	
	省エネルギー工事の提案	A	
	お客様への環境配慮型商品の提案	A	↓

環境配慮工事（参考）

○環境に配慮した施工………空調機器は環境配慮型商品を使用

○お客様への環境配慮型商品の提案

◇メゾンドルチェ平岸第2 オプション工事 部屋数36戸
 オプション工事依頼部屋数 ……9戸(全体25%)
 オプション工事内容 ……トイレ、各種水栓

◇真駒内緑町第2住宅 オプション工事 部屋数140戸
 オプション工事依頼部屋数 ……41戸(全体29%)
 オプション工事内容 ……トイレ、洗面化粧台、ユニットバス、各種水栓

◇シャルム豊平 オプション工事 部屋数218戸
 オプション工事依頼部屋数 ……27戸(全体12%)
 オプション工事内容 ……トイレ、洗面化粧台、各種水栓

◇コーポ澄川台 オプション工事 部屋数41戸
 オプション工事依頼部屋数 ……12戸(全体4%)
 オプション工事内容 ……トイレ、洗面化粧台、各種水栓

地域環境活動

①白石公園清掃活動（月1回）



②厚別川清掃（年1回）



③豊平川河川敷清掃（年1回）



④道路清掃活動



④テプラ回収



⑤現場産廃回収



⑥現場事務所



地域環境活動

⑦ペットボトルキャップとプルタブの回収



⑧エコドライブの推進



⑨さっぽろエコメンバー登録(レベル3) 登録番号 083-0016

5. 今後3年間の削減目標

項目	単位	2016年 (基準年)	2017年	2018年	2019年
購入電力量	KWh	28,085	27,804	27,525	27,249
購入電力量 北広島	KWh	27,826	27,547	27,217	26,944
ガソリン使用量	L	27,971	27,971	27,971	27,971
ガソリン使用量 北広島	L	2,835	2,835	2,835	2,835
軽油使用量	L	47,385	47,385	47,385	47,385
軽油使用量 北広島	L	136	136	136	136
灯油使用量	L	5,902	5,902	5,902	5,902
灯油使用量 北広島	L	6,991	6,991	6,991	6,991
A重油使用量 北広島	L	7,400	—	—	—
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	101,250	101,250	101,250	101,250
二酸化炭素排出量 北広島	Kg-CO2	24,023	24,023	24,023	24,023
水使用量 (排出量)	m ³	164	164	164	164
水使用量 北広島 (排出量)	m ³	79	79	79	79
産業廃棄物排出量	Kg	916,402	916,402	916,402	916,402
一般廃棄物排出量	Kg	141	141	141	141

購入電気量	2016年度に排出係数を0.683 kg-CO2/kWhに変更。 年間1%削減目標。
ガソリン・軽油・灯油使用量	2016年度の数値より上がらないよう目標設定。 (現場での使用量は反映しない)
A 重油使用量	年間1%の削減目標を上げていたが、その年度の外気温及び栽培量により変動が多い為、目標数値を上げない。
二酸化炭素排出量	2016年度の数値より上がらないように目標設定
水使用料(排出量)	2016年度の数値より上がらないように目標設定 (本社倉庫は冬場は雪のため正確な設定が出来ない為、除外)
一般廃棄物排出量	2016年度の数値より上がらないように目標設定
産業廃棄物排出量	目標数値を設定するのが難しいので、分別等を徹底する

6. 環境関連法規等遵守状況

環境関連法規への違反はありません。
また、関係機関等からの指摘及び訴訟等もありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度から年間5%の削減目標の数字に限界を感じた為、具体的な数字を立てていないが、増加している項目が少ないのは社員の削減意識が高くなったからと考える。

廃棄物の分別回収及びリサイクルは以前よりも意識して分別をしているようなので、今後もその意識が薄れないようにしていく。